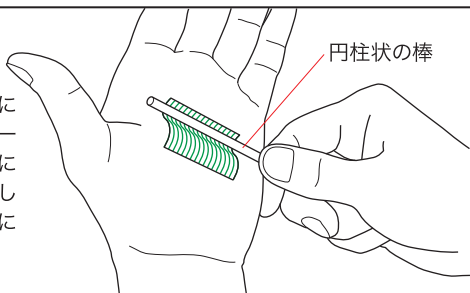


用意するもの

- はさみ ● カッターナイフ ● 定規 ● ピンセット
- のり(合成ゴム系接着剤がオススメ、または木工用接着剤)
- 折リスジを付けるための道具(鉄筆や、インクの切れたボールペン)
- 丸みを付けるための円柱棒(編み棒や鉛筆など)
- 紙の切り口着色用塗料(アクリル絵の具や、サインペンなど)
- つまようじ ● 工作用マット など




アールの付け方

片方の手のひらにパーツを乗せ、アールを付ける部分に円柱状の棒を押し当てながら充分にしごきます。



※ペーパークラフトをより美しく仕上げるためのコツや作り方はホームページ内のペーパークラフト入門を参考にしてください。

作り方

1. パーツを切り取り線に沿って切り離します。  
※ パーツのカット面(紙の断面)は組み立て前に同色の絵の具やサインペンで、あらかじめ着色しておくとう仕上がりが美しくなります。
2. 山折り、谷折りの線に沿って折り目をつけます。鉄筆やインクの切れたボールペンなど、先のとがったものでスジをつけておくときれいに折れます。印刷面にキズを付けたくないときは紙の裏からスジを付けます。  
※折るところはしっかり折るのがポイントです。
3. アール(丸み)をつける場所は、丸めたい部分の上に定規をあて、紙の端を持ち上げながら、定規をずらしてカールさせる方法と、左図のように円柱状のものを芯にして巻きつけながらしごく方法などがあります。  
図の  がアールをつけるところです。
4. 接着する前に組み立て図や完成写真をよく見て、どんな形になるのか仮組みをしてみます。同時にアールの付き具合も確認しましょう。  
接着剤は 紙のへら(紙の余白を利用してへらを作る)や、つまようじなどを使ってうすく塗るときれいに仕上がります。
5. 完成写真や組み立て図をよく見て、■の番号順に接着していきます。  
※ 基本的にパーツ番号の1から順に2,3,4...と組み立てていくのが約束です。図中の  は紙の裏側、各色の  はのりづけするところを表しています。  
※カッターナイフを使用する際は指など切らないよう充分ご注意ください。

**1**

折るところはしっかり折るのがポイントです。充分なアールを付けてから、■の番号順に組み立てます。

底面ののりしろの高さが、上面になるように接着します。

パーツが入る穴は組み立て前に開けておきます。

**2**

▲と▲が向かい合うように差し込みます。接着はしません。

図のようにパーツを組み立てたら、上下が貫通するか仮組みをしてみます。

下は四角くし、上は形状に沿って丸く形作ります。

四角く形作ります。

まず、折り線に沿って折り筋を付けて、一度完全に折り曲げてから■の番号順に接着していきます。

※圧着には長めの竹串のような物を使うと便利です。

**3**

柱(4)とアーム(5)はできるだけ直角になるように接着します。

まず、折り線に沿って折り筋を付けて、一度完全に折り曲げてから■の番号順に接着していきます。

この方向から見た完成形。

この方向から見た完成形。

**ホイールガンの組み立て**

紙の裏側を水で湿らせると丸めやすくなります。

13 14 12

4

▲の色を合わせて接着します。

■の番号順に接着します。

コノ字に被せるように接着します。

**5**

ホイールガンは給油タワー本体の上に乗せます。

5

4

11

10

3 2

ホイールガンのホースは、図のように先端にアールを付けて、アームの凹みに乗せて所々を接着します。

取り外してきえるように接着はしません。

11 10

図のようにつなぎます。

11

上下で挟んで接着します。

上下で挟んで接着します。

コイン2枚ぐらいの重りを入れます。

差し込むだけで接着しません。

図のようにアールを付けます。

19

6

**給油ノズルの組み立て**

箱状に組み立ててから▲を合わせて接着します。

紙の裏側を水で湿らせると丸めやすくなります。

紙の切り口で接着します。

18

3

17

2

15

16

**簡単バージョンはこちら**

上下で挟んで接着します。